

No.	720-020	事務事業名	道路維持管理事業				所属部	建設部				
							所属課	土木課				
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	中村順一				
	施策名	0	2	交通体系の充実			所属G(係)	道路維持グループ				
	基本事業名	0	1	道路ネットワークの構築			電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般	0	8	0	2	0	1	761112	道路維持管理事業	法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握 現場状況確認 実施要否判断 関係機関と協議 修繕や改修工事・委託の発注 工事委託終了後の検査 日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
市道の修繕とシルバー人材センター等に委託し草払いを実施		ア	道路補修・修繕箇所数
			箇所
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	草払いを実施した延長
前年度と同様		ウ	
			km
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
霧島市内の市道		単位	
		ア	市道利用者
			人
		イ	市道延長
			km
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市道の通行に支障となる草払いを行う事で、通行車輛や歩行者・地域住民の安全を図る。(常時良好な状態に保たれる。)		名称	
		単位	
		ア	改善率 = 修繕箇所/要望・苦情箇所数
			%
		イ	草払い対応率=草払い実施延長/道路延長×2回×100
			%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
交通事故を未然に防ぎ、安全に利用してもらう。(円滑な移動が出来る。)		名称	
		単位	
		ア	改良率
			%
		イ	渋滞箇所数
			箇所
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	194,567	191,230	238,983	223,887		
		事業費計(A)	千円	194,567	191,230	238,983	223,887		
活動指標		ア	箇所	586	531	524	642		
		イ	km	507	690	783	715		
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ	km	1,556	1,566	1,537	1,537		
		ウ							
成果指標		ア	%	86.7	82.9	83.3	84.0		
		イ	%			25.0	22.7		
		ウ							
上位成果指標		ア	%	55.0	55.0	55.0	56.0		
		イ	箇所	9	9	9	8		
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
高齢化社会により地域住民で行っていただいていた草払いが出来ない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
道路利用者だけでなく、地域住民からも草木が通行に支障となるので早急に対応してほしい。議会の中で市の委託外の市道の草払いをどうするか。また、自治会等に委託が出来ないかとの質問がよせられる。	

事務事業名	道路維持管理事業	所属部	建設部	所属課	土木課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市道の維持修繕に伴う要望は、年々増加する傾向にあり、地域においても偏りがあるが、必要性・緊急性がある箇所においては、対応しなければならない事業である。今後は地域住民との連絡を密にし、協力を得ながら対応していく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(廃止・休止、道路・施設整備等の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 市独自のパトロール実施については、職員数の減により困難な状況にある。
 市道の修繕・補修等については、その必要性や緊急性を再度検討し、市で対応すべき箇所を明確化していく必要がある。

No.	720-410	事務事業名	道路維持改良事業	所属部	建設部
				所属課	土木課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	課長名	中村 順二
	施策名	0 2	交通体系の充実	所属G(係)	道路維持G
	基本事業名	0 1	道路ネットワークの構築	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 8	0 2	0 1	112015	道路橋梁維持補修事業	根拠

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
安心で安全な交通に支障をきたさないよう道路施設の維持工事を行う。 1.道路の陥没、老朽化等、緊急な補修を要する工事。 2.地域の環境変化により、従来の道路の大きさでは歩行者・車両の安全な通行及び緊急車両の交通に支障をきたしている場合、道路施設の機能を回復するための道路の改良工事。 3.2同様、従来の排水側溝の規模では、側溝の機能が損なわれている場合および排水施設が未整備箇所についての排水施設整備工事。	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 道路維持工事延長	m
田口~野上線道路維持工事外38線		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
姫城4号線道路維持工事外50線		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
道路施設の維持工事の必要のある市道及び利用者		ア 通行者	人
		イ 通行車輛	台
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
通行の安全を図る。 快適に移動できる。		名称	単位
		ア 利用者が安全で快適に通行できる	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
安全・快適に移動ができる。		名称	単位
		ア 改良率、舗装率	%
		イ 渋滞箇所数	箇所
		ウ 改善数/苦情・要望総数	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円				4,800	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	140,309	100,850	132,374	118,132	
	事業費計(A)	千円	140,309	100,850	132,374	122,932		
活動指標	ア	m	5,756	3,913	5,626	15,997		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	6,575	6,740	6,753	6,769		
	イ	台	4,383	4,493	4,502	4,512		
	ウ							
成果指標	ア	人	5,756	5,900	6,050	6,200		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	87,55	87,55	89,59	91,60		
	イ	箇所	8	8	7	6		
	ウ	%	87	83	83	84		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 道路の維持修繕工事により、市民の安全で快適な交通を促すために、開始した。(何年度から開始したかは不明。)
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 道路の老朽化等により舗装、側溝等の傷みがみられる箇所が多くなってきている。また、地域の環境の変化により道路施設の機能が損なわれてきている地区がある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域住民から該当市道の早期維持工事が望まれている。

事務事業名	道路維持改良事業	所属部	建設部	所属課	土木課																						
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																											
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	道路の維持補修により、交通の安全が図られ、快適で住み良いまちづくりに結びつく。																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	道路は不特定多数の人が利用するものであり、利用者の交通の安全を図ることから妥当である。																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	一般の利用者を対象にしている。																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	道路の維持補修が目的である。																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	廃止・休止した場合、利用者の安全な交通に支障をきたす。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	道路の維持補修が目的である。																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	既に、再生材を利用する等コスト縮減を図っている。																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	今後、用地取得のための地権者との交渉や施工に向けた工事積算・発注を職員が担当することとなる。これらは市職員でなくては対応ができない業務となるため削減はできない。																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	道路は不特定多数の人が利用するものであり公平である。																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																											
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) < 改革改善案 >			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	720-500	事務事業名	河川維持管理事業				所属部	建設部						
							所属課	土木課						
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				課長名	中村 順二						
	施策名	04	防災対策の推進				所属G(係)	河川港湾G						
	基本事業名	02	災害危険箇所の整備				電話番号	45-5111						
予算科目	会計	一般	款	8	項	3	目	1	事業	115090	事業名	河川管理費	法令根拠	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
市が管理する河川の堤防などの維持補修、及び除草などの日常管理を行う。										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)									
20年度実績(20年度に行った主な活動)									
河川護岸等維持修繕工事(隼人永浜のいわご川 L=32m) 既設護岸や堤防の維持管理や補修・修繕・除草を行った。									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)									
前年度と同様(隼人木の房川 L=70m)									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等									
河川流域内の住民(市全域)									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)									
安全安心で、快適な生活ができるようにする。									
結果(どんな結果に結び付けるのか)									
安全性が確保される									
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
名称									
単位									
ア 工事箇所									
イ									
ウ									
対象指標(対象の大きさを表す指標)									
名称									
単位									
ア 住民									
イ									
ウ									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア 対応率(修繕箇所/修繕が必要と判断された箇所数)									
イ									
ウ									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア 危険箇所数に対する整備済数の割合=工事進捗率									
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		4,800	5,132	9,700		
	事業費計(A)	千円	0	4,800	5,132	9,700			
活動指標		ア	箇所	0	5	11	8		
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
成果指標		ア	%	0	53	80	100		
上位成果指標		ア	%	30	30	31	32		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
公共土木施設災害復旧事業に該当しない小規模な被災箇所の復旧、及び、堤防の維持補修及び除草を行うことで、安全性の確保を図る目的で平成19年度より開始した。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
豪雨、台風等により被害状況は異なるが、局所的な集中豪雨などが発生し易く、また、護岸施設の経年劣化等により小規模な堤防の陥没・吸い出し、路肩の決壊など増える傾向にある。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
市民や議会から、被災箇所を小規模な被災の段階で復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害防止を図るために、早急な整備が求められている。									

事務事業名	河川維持管理事業	所属部	建設部	所属課	土木課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	河川は上流側の水を速やかに下流側に流す必要があることから、路肩決壊、堤防陥没などの小規模な被災箇所の修繕・補修を行うことは防災対策の推進につながり、危険箇所の整備の構築に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市は、公共施設の維持管理の義務があり、また、路肩決壊、堤防陥没などの小規模な被災箇所を修繕・補修することで、防災対策の推進につながるため、市が関与することは妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	路肩決壊、堤防陥没などの小規模な被災箇所を整備することは、大規模な災害防止につながるから、現状の対象・意図を見直す必要はない。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	路肩決壊、堤防陥没などの被災箇所を、小規模な段階で最小必要限度の範囲で補修・修繕を行っている。これらは、防災対策の推進につながり、危険箇所の整備になることから成果の向上が見込まれる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	河川堤防の陥没・決壊などの被災箇所において、修繕・補修を廃止・休止することは、二次災害に繋がることにもなることから、冠水・浸水被害などを招く恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	公共施設である河川を対象とした維持管理する事業であり、類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	最小必要限度内での修繕や補修であるため、事業費の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	施工のための工事費積算・現場指導は、職員が担当することになる。これらは市職員でなければ対応できない業務となるため削減はできない。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	公共施設(河川)の整備であり、受益者が一部の住民に限られるものではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	河川堤防の陥没・決壊などの被災箇所を、小規模な段階で修繕・補修を行うことで、大規模な災害発生の防止につながり、事業費の縮減が期待できる。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 小規模な被災箇所を放置し、補助事業である公共災害復旧事業で対処するとしても、事業費の1/3は、市の単独費が必要となるが、小規模な段階で修繕・補修を行うことで、事業費の低減が図られることにもなる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持 増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持 増加	成果	向上			維持			低下		
		コスト																	
		削減	維持 増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 維持管理義務を怠ったことに基因した災害は、災害復旧事業の適用除外となるため、日常の維持管理が求められている。そのため、小規模な段階での修繕・補修等による維持管理が不可欠となるが、その場合、箇所数が多くなることが予想されるため、対応すべき方針・規模などについて明確化しておく必要がある。																			

事務事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業	所属部	建設部	所属課	土木課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	急傾斜地の崩壊の恐れのある災害危険箇所における土砂災害から、市民の生命・財産を守ることは、市の役割であり、防災対策の推進を図ることに結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	急傾斜地崩壊の恐れのある災害危険箇所において、土砂災害から住民の財産・生命を守るために対策工事を行うことは、市の義務であり、妥当性がある。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	急傾斜地の崩壊個所の防災対策を行うことは、土砂災害から市民の財産・生命を守ることとなり、安全性が確保されることから、対象・意図は適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	急傾斜地の崩壊個所の防災対策を行うことで、急傾斜危険箇所が減少し安全性の確保が図られる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	急傾斜地の崩壊箇所は多く、廃止・休止すると災害危険箇所の整備がなされないことになり、安全性の確保が図れない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 山林の崩壊を防止する治山事業(農林水産省)がある。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	採択要件や事業費枠の違いにより統廃合できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	標準工法による整備が原則であり、削減は厳しいが、箇所毎に現地状況等を勘案しながら事業費縮減の検討を行う必要がある。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	今後、用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や施工に向けた工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	実施箇所における被災を受ける恐れのある住民が対象となるため、受益者負担の是非の協議が必要と考えている。しかしながら、市内には危険箇所も多く、また、県営事業の採択基準に該当しない箇所を本事業で実施することになるが、県営事業には受益者負担金が伴わないことから、本事業でも同様の扱い、受益者負担金は徴収していない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	対象者が特定されるため、受益者負担について検討する必要がある。しかしながら、市内には、急傾斜地危険箇所が多く、災害危険箇所から住民の生命・財産を守ることは、市の義務であり、実施に当たっては公平性の説明が求められる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							